

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

2型糖尿病における SGLT2 阻害薬/ GLP-1 製剤の代謝への影響の検討

[研究責任者]

岡山医療センター 代謝内科医師 渡邊 真由

[研究の背景]

糖尿病罹患症例は世界的に急激に増加しており、1980 年から 2016 年にかけて 4 倍に増え、世界の成人糖尿病患者数は 4 億 2200 万人に達しました。血糖コントロールが不良の場合、心臓病、腎臓病、網膜症（視力障害）、下肢切断など、さまざまな合併症を引き起こします。糖尿病の新たな薬物療法として sodium/ glucose 共輸送体 2（SGLT-2）阻害薬とグルカゴン様ペプチド 1（GLP-1）受容体作動薬が承認され、大規模臨床試験において、これらの新規薬剤は心血管疾患リスクを低減し、腎保護作用を有することが示されました。しかし、その作用の主要なメカニズムは明らかにされておらず、近年その解明が進められています。

[研究の目的]

本研究では、2型糖尿病にて当院へ入院した症例を対象とし、糖質、脂質、蛋白代謝関連因子や細小血管合併症、大血管合併症を比較することにより、実臨床における各薬剤による代謝への影響を明らかとすることを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2型糖尿病の患者さんで、西暦 2007 年 4 月 1 日から西暦 2023 年 5 月 31 日の間に糖尿病教育入院を受けた方

●研究期間

研究実施許可日から西暦 2025 年 3 月 31 日まで

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

患者背景：年齢、性別、身長、体重、合併症、既往歴、糖尿病合併症、罹病期間、糖尿病に対する当院糖尿病内科紹介受診前治療の内容（食事・運動療法、薬物療法）、飲酒歴、喫煙歴、家族歴（糖尿病、悪性腫瘍、心疾患、腎疾患、脂質異常症、二親等まで）

血液検査：生化学、血算、肝機能、腎機能、蛋白、耐糖能、脂質、脂肪酸分画、膵島
関連自己抗体、甲状腺機能、腫瘍マーカー、インスリン分泌
尿検査：畜尿 Ccr、畜尿蛋白、畜尿アルブミン、随時尿アルブミン定量
画像検査：CT、MRI、腹部エコー、負荷心電図、頸動脈エコー、筋電図、心臓血管カ
テーテル検査

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

所属：独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 代謝内科

職名：医師

氏名：渡邊 真由

電話 086-294-9911